

『都市の経済学 小テスト No.3』

学籍番号：

、氏名：

以下の各問に答えよ。選択肢となっているものには、正しいものに丸印をつけよ。

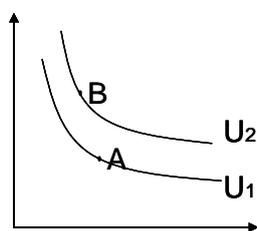
問1. 無差別曲線と予算制約線について (1点×9問=9点)

問 1.1. 無差別曲線とは、ある個人の (比較優位、公共性、満足度、外部性、) を示す曲線である。

問 1.2. 同一無差別曲線上の各財の組み合わせは (異なる、同じ) 効用を表す。

問 1.3. ある個人の無差別曲線が交わることは (ある、ない、時々ある)

問 1.4. 下記の図はある個人の 2 つの無差別曲線を表している。この個人の効用は (U_1 が大きい、 U_2 が大きい、 U_1 と U_2 は同じである)



問 1.5. 同一の無差別曲線上にあるとは、一方の財の消費を増加させるとき、他方の財の消費を (増加させる、減少させる、変化させない) ことで等しい満足度を実現していることを表している。

問 1.6. 財と財との交換比率の違いによって、ある個人がどちらの財をより重視しているかを表現することが出来る。スライド 9 頁の無差別曲線を比べると、広い住宅を消費する (= 居住する) ことを重視しているのは (A 君、B サン) である。

問 1.7. 問 1.6. の答えは、合成財の消費を増加するとき、諦めることのできる住宅の広さが (多いこと、少ないこと、等しいこと) を根拠にしている。

問 1.8. 予算制約線上の全ての財の組合せは、購入 (可能、不可能) である。

問 1.9. 最適な消費をしているとき、予算制約線と無差別曲線は (交わらない、1 点で接する、2 点以上で交わる)

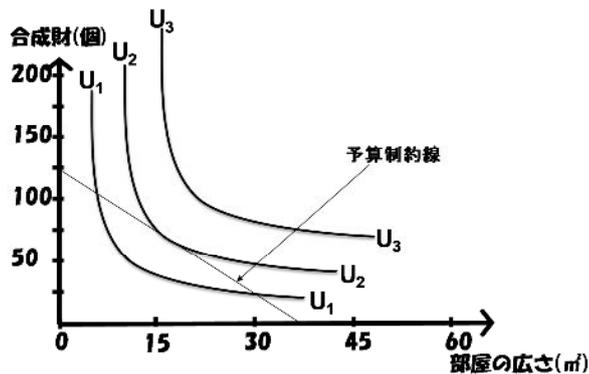
問2. 最適な消費の組合せについて

問 2.1. 下図のような予算制約線と 3 種類の無差別曲線がある。この図において、最適な消費の組合せとなる、予算制約線は (U_1 、 U_2 、 U_3) である。(1点)

問 2.2. 問 2.1. において、選ばなかった 2 本の無差別曲線はなぜ最適な消費の組合せを達成していないと考えられるのか? それぞれの無差別曲線を選択しなかった根拠を述べよ。(2点×2問=4点)

無差別曲線 U_1 : 根拠 お金があまり、より満足度の高い無差別曲線を選べるから

無差別曲線 U_3 : 根拠 お金が不足し、この水準の無差別曲線は選べないから



問3. 最適な消費の組合せについて (全問1点×7問=7点)

問3.1. 月給30万円の人が、合成財と住宅サービスを受容するケースを考える。合成財の価格が1000円/個であり、1ヶ月の家賃は3000円/m²のとき、予算成約線C₁は図のようになった。このとき、この個人の効用 (= 満足度) を最大にする無差別曲線、およびその時の最適な消費の組合せを答えなさい。

効用を最大にする無差別曲線 : (**U₃**)

最適な消費 : (合成財 : **150** 個 , 部屋の広さ : **50** m²)

問3.2. 1ヶ月の家賃が1500円/m²に値下がりした。新しい、予算制約線C'を図に書き込みなさい。

問3.3. 問3.3のように家賃が値下がりした時の、最適な消費の組合せを答えなさい。ただし、U₁ ~ U₄はこの個人の無差別曲線を表している。

(合成財 : **150** 個 , 部屋の広さ : **100** m²)

問3.4. 家賃補助政策を実施する場合、1m²あたりいくらの補助金をだせば、U₁が最適な効用 (= 満足度) を表す無差別曲線となるか答えなさい。

(補助金額 : **1500** 円/m²)

